

# 町長日誌 No.165



町長日誌の第165号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

## 7月16日(日) PM5:00

「暑い、暑い、いや～暑い」と言いたくなる天候が7月に入って続いています。

今月は4～6日、10～11日が東京、13～15日が札幌、18～22日が福岡・長崎、そして26～29日が東京と出張が続きます。来年度の農業基盤整備・道路整備・漁港整備・EUとのEPAに係る酪農畜産対策などについての事業に係る予算の要請活動が続きます。東京でも札幌でも興部でも30℃以上の日が続いていましたが、今日昼ごろから雷雨と共に大きな雨が降り出し、やっと涼さが戻ってきました。さて、この時期は様々な町長さんとお会いお話をすることが多いのですが、「でんすけスイカ」で有名な当麻町長からは「昼夜の気温差が無く、スイカの糖度が上がらなくて困る」、比布町長からは「遅れていた水稻の成長が回復してきてかなり良くなってきた」、幌延町長からは「宗谷地域は雨の日が多く牧草の収穫、特に乾牧草の収穫作業が大幅に遅れている」、広尾町長からは「昨年の台風で港に流れ込んだ流木が未だに大量に残っている」など地域が変われば天候も、抱える課題も大きく異なるものだと思います。九州で発生した大水害、昨年の北海道での台風災害を思い出します。亡くなられた多くの方々に心からご冥福を申し上げますと共に、一日も早い復興を願うばかりです。気象の変動は地球規模で発生しています。決して、他人ごとではないことを肝に銘じて備えなければならないと考えています。尚、今年の防災訓練は遠軽自衛隊の協力を得て、土砂災害からの救出訓練を想定して行うため日程を変更して10月5日(木)に行う事になりましたのでお知らせします。

## 7月14日(金)

幌幌にありますが北海道消防学校を会場に消防団の北海道消防操法訓練大会が開催され、応援に行っていました。この大会は全道から12チームが出場し、小型ポンプを使った消火活動(小型ポンプ操法と言う)の技術を競う大会です。オホーツク管内からは「清里消防団」と「我が興部消防団」の精鋭が出場しました。これまで昭和60年、平成16年と出場していずれも準優勝でしたので、今年こそはと2年前から大会の視察を行い、冬の間から体力づくり、そして平成16年出場の先輩たちが付きりで動作の指導にあたりました。出場メンバーは5人編成され、号令をかけるまとめ役の指揮者は面 明儀君(下村運送)、消火時にホースの筒先を持つ一番員は花形の役目で前田雄太郎君(下村運送)、2番員は伝令の

役割を持ち一番走る距離が長い役割を鼻田真介君(JA)、小型ポンプの操作を行う3番員、実はこの給水、送水の時に一番トラブルが多く地味ながら勝敗のカギを握る役目を山田奨君(藤共工業)、そして立場上は吸管補助員なのですが、給水するホース先(ごみ取りのカゴがついている)を如何にポンプが入った瞬間にエアを吸わずに給水させるのが実は難しく、遠くから見てみるとマネキンが立っているのかなと思うくらい後ろを向いて動かない役目が堤田ひかる君(アドナイ)とこの5名がスタートから僅か45秒以内に目標の「火」と書いたパネルを水圧で倒し、消火終了を告げ、スタート位置に戻りホースや筒先などを所定の位置に戻し、乱れた服装を整え、最後に審判に終了報告するまでの僅か数分間の競技に興部消防団はもとより紋別分会の名誉も掛けた戦いがあります。興部は競技順5番で、消火タイムは42秒とそれまでのトップ、しかも動作がとてもしびきびきびして、5人の白いヘルメットが糸で繋がっているような錯覚を起こすくらい見事な技術と滑らかな動作でした。優劣は別にして「興部はスゴいな!」と言う声が会場内のあちこちから聞こえ、私は嬉しくて堪らなくなりました。しかし、勝負の世界は厳しいもので、6番目出場の上士幌町消防団に消火タイムで1秒負け、総合得点では興部87点、上士幌88点と僅か1点の差で今回も準優勝となりました。5名の団員は、悔しさで全員泣きながらの表彰式となりました。私も悔しかったけれど3代続けて全道で優勝を争える素晴らしい技量と精神を持った消防団員が興部町にいてくれて、しかも優勝出来ないことにこんなに悔しさを表すことが出来る平均30代前半の若者たちがこれからの興部町を担ってくれると思うと、逆にうれし涙が溢れそうになりました。団員5名のうち3名は牧草収穫作業に係わっていて、大事な時期に練習が満足に出来ず、皆で遣り繰りしながら雨の日など、疲れている身体にムチ打ち訓練に励んでくれたことを指導に当たっていた職員から聞いていただけに心から「ありがとう」と感謝を言います。そして、次こそ「打倒十勝」を目指して若手団員の養成にご協力くださいますようお願い致します。



暑い時より、気温が下がりだした時の方が、疲れが出て体調を崩すと聞きます。高齢になるにしたがって顔に汗をかかなくなるそうで、室温が異常に高い部屋に居て熱中症になる方も多いようです。部屋に温度計を掛けてこまめに観るようにして下さい。また、子供たちは夏休みが始まります。子や孫さんたちが里帰りしてくるご家庭も多いと思います。大いに夏を楽しみましょう! では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

